



(2) 作物を植えて、育てよう



お金がかかっているものを植えているのだと思いました。早く大きく育て欲しいので、水をたっぷりあげました。とうもろこしが大きな実を实らせたら、その分、私たちががんばって売りたいです。  
児童の感想より(抜粋)

6月5日

作物管理は、朝、昼、放課後など空いている時間を利用。  
8月下旬の収穫をめざして希望が膨らむ。

- 評価: ① 願いの達成に向けて、一生懸命に作物を育てていたか。  
② 発生した問題に対して、工夫して解決しようとしたか。

(3) 「さあ、収穫だ。」と思ったけれど・・・

◆ 大失敗を生かせ



期待していたとうもろこしが、大失敗。早速、緊急会議。  
「長雨の日照不足が原因だろう。」  
「世話が足りなかったのでは。」  
「動物に食べられた跡が・・・。」  
など、いろいろな原因が考えられた。  
近所の畑がサルに荒らされたとの情報も飛びかい、不安がつのった。  
結局、さまざまな原因が重なったと思われる、自然を相手に利益をあげることの難しさを体験した。

収穫したとうもろこしをしょうゆ味で焼く付加価値をつけ、1本350円で販売する予定だったが、とうもろこしの苗の代金1,400円、早くも損失。

「こうなったら、せめてトマトにかけよう。」と、畑の周囲にネットを張り、成功に向けて誓い合う。

◆ 収穫間近、トマトの値段を決めよう。

児童による値段設定

大きくて傷あり	2個	100円
大きくて傷なし	2個	150円
小さくて傷あり	3個	100円
小さくて傷なし	3個	150円

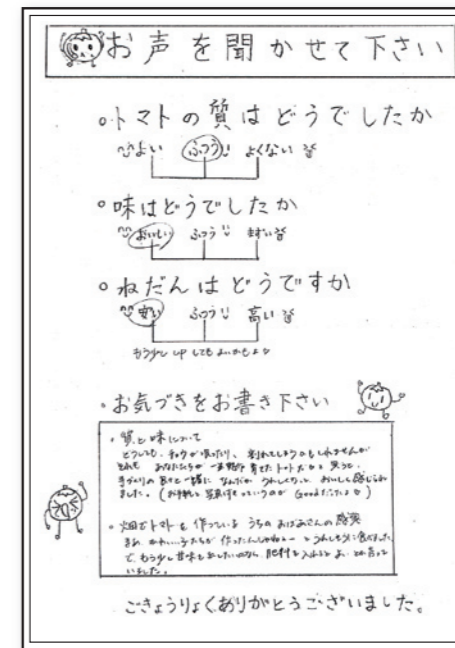
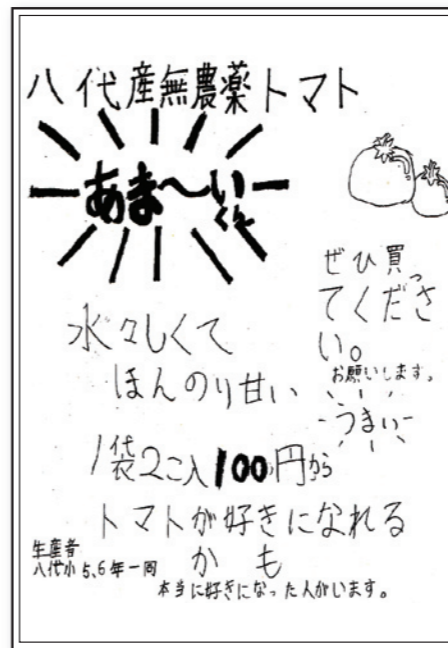
これで、採算取れるのかな？  
消費税はどうするの？

主婦でもあるT先生からのアドバイス  
「魅力ある商品は、高くても買うよ。」

児童の反応(新たな願い)

- ・魅力ある商品って何だ？  
「おいしくて、色や形がよくて、それに安全なもの。」  
「無農薬で安全なトマトであることを宣伝しよう。」
- ・キャッチコピーを作って、アピール開始。
- ・消費税なしをPRして販売。

◆ PR大作戦とお客さんを大事にするためにできることを考えよう。

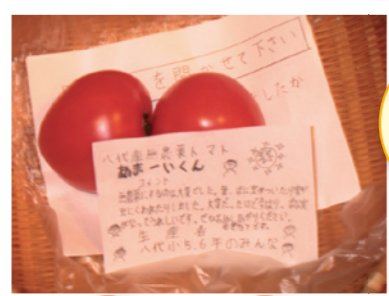


PRとして、無農薬を強調したパンフレットを作り、保護者や教職員に配った。また、トマト販売に際して、消費者の反応を今後につなげるためのアンケート作りも工夫した。



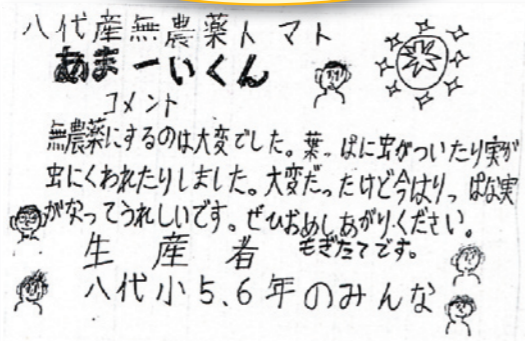
- 評価: ① 収穫の状況やトマトの様子を参考に、話し合いを通して値段を設定しようとしたか。
- ② 魅力ある商品について考え、販売促進や消費者のためにできることを工夫し、実践できたか。

(4) 販売開始と売上帳簿作り



トマトといっしょに、生産者のコメントと「お声を聞かせてください」アンケートを入れて販売開始。  
ようやく販売にこぎつけ、張りきる子どもたち。

まるかじりしました。小さくてすぐに食べることができました。新鮮で、ほんのり甘かったです。皮がかたかったです。  
消費者の声より

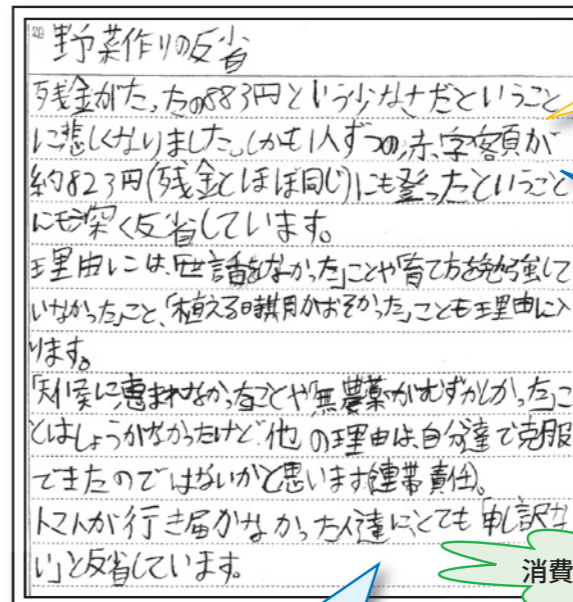


今日、お母さんにトマトを買ってもらいました。150円もらったとき、うれしくなりました。  
お母さんは、風呂からあがって食べていました。おいしそうだったので、ぼくも食べてみました。少し、すっぱい気がしました。  
児童の販売日記より(抜粋)

- 評価: 販売活動を通して感じたさまざまな事柄を、表現することができたか。

- 観点: ① 販売に向けての自分の思いや願い
- ② 販売のときの様子やお金をもらったときの気持ち
- ③ 買った人や食べた人の反応とそれに対する自分の気持ち
- ④ 課題や新たな願い、など

(5) 振り返ろう



残金 133円 + 売上 750円 = 883円  
一人 823円の返済

利益を上げる難しさ  
投資家への責任

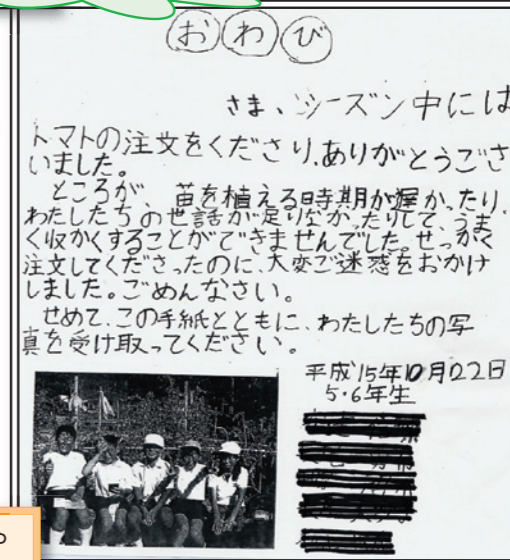
自己破産と社会的な責任(信用)についての学習へ発展  
・金融広報中央委員会発行『きみはリッチ?』使用

消費者への責任

新たな課題  
「どう対処していけばよいか」

児童の反応(アイデア)  
「おわびの手紙を書いて、あやまりに行く。」

「原因をしっかりと説明して、あやまる。」



- 評価: 今までの活動を通して学んだことや気づいたことなどを追求しているか。

最後に

野菜を育て、収穫し、利益を上げることの難しさだけでなく、思わぬハプニングによって魅力ある商品について考えたり、税金や自己破産などについて学習したりすることができ、学びを広げることができた。特に、児童の「野菜作りの反省」文に見られるように、いくら小さな経済活動でも、大きな責任をともなっているということに気づくことができたのは、何よりの収穫であった。結局、旅費については、手伝い(家庭アルバイト)の収入や自分の貯金、保護者の助け等を借りて出発することになった。